



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 システム・テクノロジー・アイ  
コード番号 2345 URL <http://www.svstech-i.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 秀紀

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 内山 富士子 TEL 03-5148-0400

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	519	16.3	4	—	3	—	0	—
25年3月期第2四半期	446	7.9	△7	—	△10	—	△16	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 0百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △16百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	0.67	0.67
25年3月期第2四半期	△12.62	—

(注) 当社は平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割をおこなっております。このため1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	956	784	81.5
25年3月期	939	784	82.9

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 779百万円 25年3月期 778百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,096	22.9	36	—	28	—	19	—	14.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	1,335,300 株	25年3月期	1,335,300 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,178 株	25年3月期	2,178 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	1,333,122 株	25年3月期2Q	1,333,200 株

(注) 当社は平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割をおこなっております。このため期中平均株式数は、当該株式分割の影響を考慮しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。  
 当社は、平成25年10月31日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、株高の継続、円安などを背景に景気は緩やかな回復基調が続いております。

当社グループでは、前期に、当社グループの中長期計画「Challenge20」の達成年度、業績目標について、再度実現性を見直しを行い計画達成に向けて平成26年3月期をスタートいたしました。

当第2四半期では、株式会社アイ・ラーニング（国内唯一のIBM認定トレーニング・プロバイダーとしてIT研修から人材開発研修まで幅広い研修サービスを提供）と新しい研修スタイルの創出を目指し、それぞれの強みを活かした事業展開を推進することを目的とした業務提携を行い、9月末より当社が提供するペーパーレス研修システムを株式会社アイ・ラーニングで採用いただきペーパーレス研修がスタートいたしました。

また、今年もOracle Universityがお客様のオラクル研修ビジネスに貢献したパートナーを表彰する「Oracle University 表彰式」において、最優秀パートナーに与えられる「Excellent Partner 2013」を受賞し、Oracle認定講師を表彰するExcellent Instructor 2013においても、全受賞者4名のうち当社講師2名が受賞いたしました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、519百万円（前年同期比16.3%増）、営業利益4百万円（前年同期は7百万円の損失）、経常利益3百万円（前年同期は10百万円の損失）、四半期純利益0百万円（前年同期は16百万円の損失）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

#### [iLearning事業]

iLearning事業につきましては、第1四半期から引き続き金融業界及び医療業界での横展開に注力し営業活動を行ってまいりました。ペーパーレス会議システム「E-Server」につきましては、販売パートナーとの連携強化、製品紹介セミナー等の営業活動に注力してまいりましたが、受注成約に結びつかず売上高は計画を大きく下回りました。一方、企業向け総合学習システム「iStudy Enterprise Server」につきましては、金融、医療業界の新規案件が予定通り成約し、前年同期に比べ売上高は増加しセグメント損失は大幅に減少いたしました。

その結果、売上高221百万円（前年同期比3.3%増）、セグメント損失6百万円（前年同期は12百万円の損失）となりました。

#### [Learning事業]

Learning事業につきましては、企業の景気回復基調により社員教育が活発になってきたことを背景に研修申込代行サービス（ラーニングサービス）と、情報処理試験対策向けの研修等の申込みが順調に推移いたしました。前年同期では、売上及び利益増加につながった新入社員向け大型案件がありましたが、当期において受注できなかったため、セグメント利益は前年同期に比べ減少いたしました。

その結果、売上高188百万円（前年同期比9.8%増）、セグメント利益14百万円（前年同期比20.0%減）となりました。

#### [人材紹介・派遣事業]

人材紹介・派遣事業につきましては、医療系を中心に企業の人材需要が高まり人材派遣、業務委託等が好調に推移いたしました。一方で先行してスキルの高い人材確保を積極的に行っており人件費が増加したため、前年同期に比べ売上高は大幅に増加したもののセグメント利益は減少いたしました。

その結果、売上高109百万円（前年同期比80.7%増）、セグメント損失3百万円（前年同期は3百万円

の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて16百万円増加し、956百万円となりました。これは、主に売掛金28百万円、工具器具備品4百万円の増加、現金及び預金13百万円、商品及び製品5百万円の減少によるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べて16百万円増加し171百万円となりました。これは、主に前受収益9百万円、買掛金7百万円の増加によるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べて0.1百万円増加し784百万円となりました。これは、主に利益剰余金0.9百万円の増加、新株予約権0.7百万円の減少によるものであります。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて13百万円減少し、388百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、2百万円(前年同四半期は39百万円の収入)となりました。これは税金等調整前四半期純利益3百万円、減価償却費8百万円、仕入債務の増加による収入7百万円、売上債権の増加による支出28百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、10百万円(前年同四半期は26百万円の支出)となりました。これは固定資産の取得による支出10百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、0.4百万円(前年同四半期は0.4百万円の支出)となりました。これは、リース債務の返済による支出0.4百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年4月30日に公表いたしました通期の業績予想に関しましては、現時点においては変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	540,704	526,848
売掛金	126,398	154,479
有価証券	10,129	10,131
商品及び製品	10,167	4,778
仕掛制作費	1,486	1,139
前払費用	13,537	17,676
関係会社短期貸付金	150,000	150,000
その他	2,761	3,846
貸倒引当金	△199	△282
流動資産合計	854,985	868,618
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	11,117	9,996
工具、器具及び備品(純額)	11,807	15,988
リース資産(純額)	2,600	2,210
有形固定資産合計	25,525	28,194
無形固定資産		
ソフトウェア	14,502	12,868
その他	1,172	1,093
無形固定資産合計	15,674	13,961
投資その他の資産		
敷金及び保証金	41,350	41,350
その他	4,578	6,589
貸倒引当金	△2,116	△2,116
投資その他の資産合計	43,812	45,823
固定資産合計	85,012	87,979
資産合計	939,998	956,597
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	36,701	44,275
未払金	33,193	25,128
未払法人税等	3,041	4,108
未払消費税等	2,819	6,018
前受金	11,751	14,419
前受収益	59,716	69,624
その他	5,277	5,486
流動負債合計	152,501	169,060

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
固定負債		
リース債務	1,911	1,501
繰延税金負債	1	0
退職給付引当金	952	1,226
固定負債合計	2,864	2,728
負債合計	155,365	171,789
純資産の部		
株主資本		
資本金	347,234	347,234
資本剰余金	982,682	982,682
利益剰余金	△550,263	△549,357
自己株式	△778	△778
株主資本合計	778,875	779,780
その他の包括利益累計額		
その他の包括利益累計額合計	—	—
新株予約権	5,757	5,027
純資産合計	784,632	784,808
負債純資産合計	939,998	956,597

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	446,705	519,339
売上原価	252,241	304,546
売上総利益	194,464	214,792
販売費及び一般管理費		
役員報酬	26,967	28,366
給料手当及び賞与	72,111	83,553
法定福利費	11,476	13,171
広告宣伝費及び販売促進費	7,190	7,327
賃借料	11,905	11,850
支払報酬	10,962	10,678
減価償却費	4,475	6,234
のれん償却額	16,356	—
その他	40,228	48,854
販売費及び一般管理費合計	201,673	210,036
営業利益又は営業損失(△)	△7,208	4,756
営業外収益		
受取利息	1,034	1,059
無効ユニット収入	254	686
その他	158	511
営業外収益合計	1,446	2,256
営業外費用		
証券事務取扱手数料	3,157	3,199
その他	1,100	583
営業外費用合計	4,258	3,782
経常利益又は経常損失(△)	△10,020	3,229
特別利益		
新株予約権戻入益	—	729
特別利益合計	—	729
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△10,020	3,959
法人税、住民税及び事業税	3,208	2,901
法人税等調整額	3,606	152
法人税等合計	6,815	3,054
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△16,836	905
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16,836	905



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△16,836	905
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	△16,836	905
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16,836	905
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△10,020	3,959
減価償却費	10,073	8,730
のれん償却額	16,356	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16	83
長期前払費用償却額	117	896
退職給付引当金の増減額(△は減少)	136	274
受取利息及び受取配当金	△1,034	△1,059
売上債権の増減額(△は増加)	14,895	△28,080
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,223	5,736
仕入債務の増減額(△は減少)	693	7,573
前受収益の増減額(△は減少)	10,180	9,907
その他	△4,122	△9,220
小計	39,515	△1,199
利息の受取額	105	125
法人税等の支払額	△484	△1,893
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>39,135</b>	<b>△2,967</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△11,674	△10,478
定期預金の増減額(△は増加)	△20,024	△18
敷金の回収による収入	4,758	—
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△26,940</b>	<b>△10,497</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△11	—
リース債務の返済による支出	△409	△409
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△420</b>	<b>△409</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	11,773	△13,874
現金及び現金同等物の期首残高	405,905	402,469
現金及び現金同等物の四半期末残高	417,679	388,595

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	iLearning 事業	Learning 事業	人材紹介・派遣 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	214,669	171,551	60,485	446,705	—	446,705
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	7,087	7,087	△7,087	—
計	214,669	171,551	67,572	453,793	△7,087	446,705
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△12,954	18,386	3,379	8,811	△16,020	△7,208

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△16,020千円には、セグメント間取引消去335千円、のれん償却額△16,356千円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	iLearning 事業	Learning 事業	人材紹介・派遣 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	221,651	188,413	109,274	519,339	—	519,339
セグメント間の内部 売上高又は振替高	580	—	5,810	6,391	△6,391	—
計	222,231	188,413	115,085	525,730	△6,391	519,339
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△6,232	14,701	△3,797	4,671	84	4,756

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額84千円は、未実現利益の調整額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。